



東京日野プロバスクラブ プロバスだより

令和4年6月16日発行
第137号

創立平成22年9月16日

喜ばば 喜び事が 喜んで 喜び集めて 喜びに来る

令和3年度(2021年度)

会長 澤田 研二

幹事 大島 芳幸

通算119回 (5月19日の例会は開催)

(クラブ第12年度 第12号)

会長挨拶



4月の例会は、4カ月ぶりということで、懇親会中心の例会でしたが、大勢の参加をいただき、和やかなひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。

5月例会では、2つの嬉しい報告があります。

1つは昨年12月に入会済みですが、コロナで3カ月の休会、4月は仕事で欠席のため、会員皆様との顔合わせは5月が初めてとなる小林直也さんが仲間入りしました。

さらにあと1人、創立会員であった市川資忠さんのご息都市川篤仁(アツヒト)さんが7月から入会が決定です。

また、5月例会では卓話に替えて日野プロバスクラブの従来からの課題である「クラブ活性化に向けて」をテーマにして5つの委員会でフリートーキングの時間を設け討議しました。この結果は、6月の新旧合同引き継ぎ理事会で結果を報告し、今後の活動につなげてまいります。

全日本プロバスクラブ総会が11月八王子プロバスクラブが担当し開催されます。日野プロバスクラブとしては全面的支援をしてまいります。

4月から取り組んでいるウクライナ人道支援の取り組みは5月例会で締め切ります。会員個人としての協力と日野プロバスクラブのきずな預金と合算し、5月中に日野市に届けます。

例会では初めての試みとして、古本市を実施。これは元クラブ会員の村瀬彰悟氏のご遺族から、ご主人が愛読していた本を寄贈したいとお話をいただき、その意を組み5月例会でみなさんに好みの本を購入していただき、その売上金と残りの本を光の家に届けバザールに提出します。

日野プロバスクラブ令和3年度もあと1ヶ月、ぜひ会員皆様とともに有終の美を飾りたいものです。

会長 澤田研二

今月のコラム

チロンヌプカムイオマンテ(キタキツネの霊送り)

新聞に載っていた記事に興味を持ち、家内と見に行きました。この映画は1986年に、北海道、屈斜路湖を望む美幌峠で、大正時代から75年ぶりに行われたアイヌの幻の祭祀を撮影した記録映画を北村皆雄監督が再編集した映画でまた近年人気の「ゴールデンカムイ」などアイヌ文化への関心が高まっていることを受けて、アイヌ語は漫画を監修した中川裕・千葉大名誉教授が現代語訳をつけ、アイヌの人たちもほとんど知らない幻の祭祀である。

狩猟民であるアイヌの伝統的な考えでは、動物は自らの肉や毛皮をにして土産にして人間の国へやってくる。アイヌはキタキツネを我が子のように育てるとやがてイオマンテを行う。祈りを捧げ、歌や踊りで喜ばせ、土産を背負わせて神の国へ送る祭祀である。祭祀を司るのは明治44年生まれの日川善次郎エンカ(長老当時75歳)で、祈りの言葉を間違えれば神の怒りをかう。一言一句に魂を込めた祭祀である。

2kレストア(修復)を行い、歌・踊り・言葉を35年後に蘇らせた記録映画です。

アイヌ民族の祭祀を後世に伝える意義に深い感銘を受けた。

渡辺 明(今年度事務局)

例会委員会 五加 治

先月より新型コロナの規制がほぼ解除となり6月から外国人観光客の受入れが1日当たり2万人と少しずつ日常に戻りつつあります。

例会委員会では、次年度からの例会を2か月に1度開始時間を夕方に変更し、当日は例会の後「懇親会」を開催し皆さんとの会食を楽しむことが出来ないかと提案がありました。4年度の理事に理事会での決議事項と考えています。今年度は前年度に引き続き例会が変則的な開催でしたが、この提案でこれからの「日野プロバス」のより一層の活性化が図れないかと考えました。

会員委員会 後藤 紀之

今年1月入会の小林さんですが、例会が開催出来なかったり、4月のご都合が悪かったりしていましたが、今月ようやくお会いすることが出来ました。宜しくお願い致します。

日野プロバスクラブも創立時は26名で発足しましたが、小林さんの入会で延べ63名となりました。故市川さんのご子息から7月入会希望の申し込みを受けましたので嬉しい限りです。コロナ禍も少しずつ収束の気配が見えて来たようですので、毎月例会等が開催される事を祈っています。

地域奉仕委員会 林 良健

地域奉仕委員会活動は、「地域社会に貢献する行動計画を、立案推進する。」と運営細目に定められています。

コロナ禍により、今までの社会貢献活動が出来ない状況下で、「プロバスだより」前号で紹介した奉仕活動以外に、地球的視野に立って社会貢献に取り組んでいる団体への活動支援を考えては…と思っています。

「ウガンダの子どもたちへ…」井戸と学校づくりのために、取り組んでいる方が定期的に、学用品、衣料品、生活用品などを現地の子どもたちへ提供しています。そのお手伝いが出来れば…

東京日野プロバスクラブ公式 HP

URL: <https://www.hinopc.com>



スマホをかざしてご覧ください

研修委員会 久保 正男

早いもので、令和3年度、沢断年度も今月をもって終わりとなります。研修委員では、年間を振り返っても、コロナの影響から、高畑不動産カスの講和と、日野市長のこう講和は、コロナ対策期間のハ間の例会時に何とか実施することができました。屋外研修については残念ながら計画すら立てられませんでした。しかしながら、5月例会の中で各委員会ごとと検討会の時間があり、研修委員会では過去の研修実実施資料を基に、当時の思い出話や新しく提案要望などなど活発に意見交換となりました。会員の意見を取りまとめて次年度の役員へ引き継ぐこととします。なお7月、新年度最初の例会時に顔合わせを兼ねた各委員会ごとの打ち合わせ時間を設けていただくことを提案します。

研修委員長として1年間、大変お世話になり、ありがとうございました。

情報委員会 山本 英次

新緑の気持ちいい季節になりました。情報によれば、一年で一番好きな月に5月を挙げる人も多いようです。新緑に加えて気候の良さ、装いが軽くなる。新年度の忙しさがひと段落してGWを迎えると花粉から解放されるなどが理由の様です。私には脊椎間狭窄症の持病を持っているので、冬の間の厳しい寒さから逃れて、その痛みが少し軽減される気候が嬉しいのです。新年度を迎え、新しい情報委員が選出され、今後に期待が膨らみます。1年間、ありがとうございました。

今月のニコニコワコイン

*後藤 一郎さん。

薫風の好日を喜んで。

*久保 正男さん

一生に一度の喜寿に皆さまから暖かいお祝いをいただき ありがとうございました。

11年後の米寿まで何とか頑張ります。

よろしく申し上げます。

*吉ノ元身良さん

ご報告ですが、東京法務局八王子支局が現在の八王子市南大沢から、八王子市明神町4丁目に今年の7月19日から移転します。行ってがっかりしないようにと思い申し上げました。

皆様のご健康とご多幸をお祈りしたいと存じます。

道路交通法が改正されましたので、さらに運転には注意したいと思います。

*山本 英次さん

長い間の皆様のご厚情を感謝申し上げます。

ありがとうございました。

【これまでの累計金額 30,000円】

誕生日を迎えて 小林直哉 会員

昭和 32 年 5 月に生を受け、満 65 年となりました。若い頃は、65 になったら優雅にのんびり楽々年金生活を予定していましたが、当分フルタイムであくせく働くことになりそうです。大好きな野球も週 1 回、大好きなお酒の席もコロナでほとんどなしですが、今は元気で働けることに感謝しています。子供たちが巣立ち、老夫婦と要介護の義母、年老いたわんこ一人の穏やかな生活がでていることにありがたいと思っています。



誕生日を迎え 吉ノ元身良 会員

小生、元気に 76 回目の誕生日を迎えられて一息です、妻、子供 2 名、孫 4 名も元気な生活をしています。15 年ほど前に腰が痛くて朝方は痛くて寝ていられない状態のころ、脊柱管狭窄症で治りませんよ、と医者に診断されて薬局で勧められた薬を飲み続け、今ではあの痛みを忘れている状態です。仕事も無事 50 年目を迎えられました。金婚式も迎えられそうです。これも一重に私の両親、妻の両親のおかげと感謝です。今後とも日野プロバスの益々の発展を祈念申し上げます。

五月の誕生祝い

澤田会長を囲み 吉ノ元さん、小林さん、後藤さん



【誕生月に寄せて】 後藤紀之 会員

5 月 12 日に 76 歳の誕生日を迎えました。今のところ脊柱管狭窄症の持病で苦しんでいますが、それ以外はどうにか頑張っ生活しています。現在家内の母親と同居していますが、その母が寝たきりとなり訪問診療・看護・入浴とあるものの、特に家内に相当な負担が掛かっています。私は出来れば「ピン・シャン・コロリ」と逝ける事を祈っております。



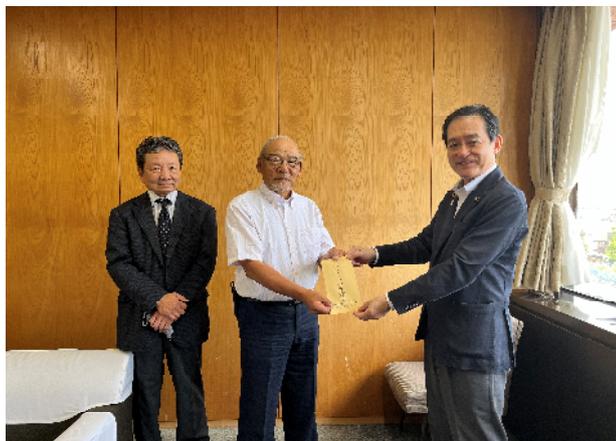
理事会・幹事報告 幹事 大島 芳幸

情報委員会

山本 英次 魚住 徹 小林 昭治
篠原 昭雄 土方 尚功 太田 健
村田 博

ウクライナ人道支援金

日野市へ委託



例会場にて展示販売された書籍類

5月30日日野市庁舎にて大坪市長へ支援金を委託

今年2月25日のロシアによるウクライナ進行は世界中にショックを与えており、その戦況は先行き不透明で、ただただ平和への収束を祈るばかりです。

コロナ禍が収まりつつある先月4月、当クラブも4か月ぶりに例会を開催し、久しぶりの交友を持つことが出来ました。

その例会場で会員の皆様から募金を募り、集まった25,000円にクラブの「きずな基金」から25,000円を補填し、計50,000円を日野市を通じて日本赤十字社へ寄贈することとしました。

村瀬彰吾元会員の蔵書を寄贈

故 村瀬彰吾元会員のご遺族より蔵書の一部を当クラブへ寄贈いただきました。

5月例会時に会場で会員の皆様へ案内して購入いただき、その売上金10,000円と残った書籍類を「東京光の家」へ寄贈しました。



今日の締めの挨拶

副会長 宮地 公平